

3. 1年生と年長児の交流の実際



交流の実際 6/27

『第1回 セタ飾り・ドッジボール』

【ポイント】

- 安心して交流させる
 - ⇒人(ペアの組み方)
 - ⇒場所(保育所)
 - ⇒活動内容(経験のあること)

【子どもの姿】

- 安心感をもつ
- 自信をもって活動する
- 自分から関わろうとする



◎ 交流の実際 10/27

『第2回 秋みつけ』

【ポイント】

- 事前の活動で思いを膨らませる
- 児童の思いを次の活動につなげる

【子どもの姿】

- 自然への興味・関心を深める
- ペアへの意識をより明確にする
- 次の交流につながる発言をする



交流の実際 12/4

『第3回 あきまつり』

【ポイント】

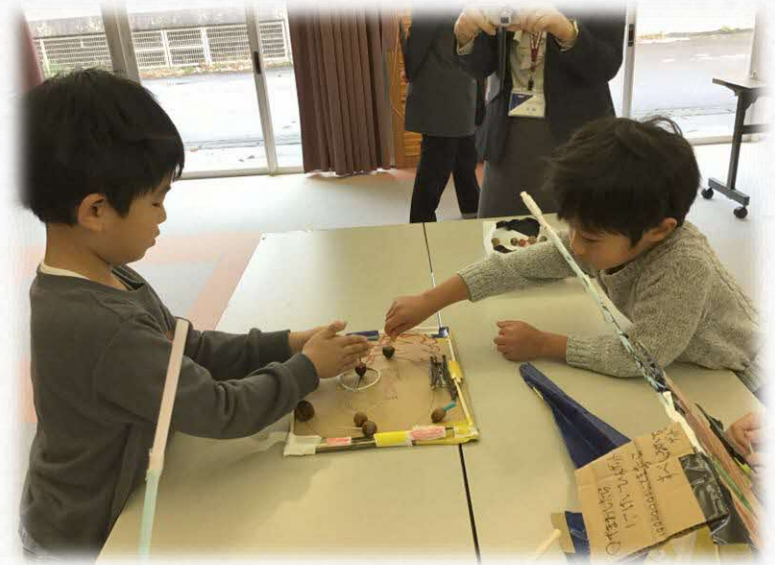
○遊びきるための環境を工夫する

【子どもの姿】

○自分の思いや考えを伝え合う

○おもちゃの遊び方を教え合う

○満足感・達成感をもつ



その他の連携について

小学校職員による
保育所での日常の様子への参観



保育所職員の
小学校での絵本読み聞かせ



小学校職員による保育の参観・体験



年長児・1年生以外の担当保育士、
教員の交流学习への参加



小学校職員の
保育所での絵本読み聞かせ



保育士による小学校の授業参観



交流を通しての年長児の変容

【保育所年長児】

- ・1年生になることをすごく楽しみにしている様子が見られ、期待感が高まっている。
- ・様々な活動に対して意欲が向上し、「やってみよう」という気持ちが増した。
- ・ドッジボールでは、1年生の強さを見て感じとり、どうしたら強くなるか、年長児だけで秘密の特訓を考える姿が見られるなど、自分から進んで取り組む姿が増えた。
- ・交流3回目のあきまつりでは、自分たちで考え、作ったおもちゃで一緒に遊んだことで、達成感や自信をもてたと感じた。
- ・1年生に優しく接してもらったことで、保育所でも年下の友達に優しく言葉をかけたり、世話をしようとしたりする姿が増えてきた。

交流を通しての児童の変容

【1年生児童】

- ・交流を行う毎に、交流を楽しみにする気持ちが増していた。
- ・入学しても保育所といつでもつながってられる、成長を見てもらえるという安心感をもって1年間を過ごすことができた。
- ・交流の時だけでなく日常生活の中にも、年長児を気にする姿や、友だちと助け合う姿など、相手意識のある行動が多く見られるようになった。
- ・来年度、年長児が1年生になって入学してくることをとても楽しみにしている。
- ・自分で調べたり繰り返し試したりするなど、学びが自分事となり、主体的に取り組む姿が増えた。

交流を通して職員の気づきや学び

【保育所職員】

自信をもって行動
しているね。



安心して自己発揮
できているね。



自分から進んで行
動しているね。

1年生は、優しさ
や責任感が育って
きたね。

交流を通して職員の気づきや学び

【小学校職員】

自分のことが
自分でできるね。

生き生き
しているな。

1から教えなく
てもいいんだ。

関わり方が自然だね。

できていることを
さらに伸ばしたいな。



4. 取組の成果及び 課題と今後に向けて



成果

- ・先ほど紹介した子ども（期待する子ども像等に関する姿）の変容・職員の気づきと学びがあった。
- ・今年の重点的な取組としてあげていた**子ども・職員同士の日常的な関わり**を実施（絵本の読み聞かせ、授業・保育参観、保育体験等）することができた。
- ・一年目の目標である南小校区の架け橋期のカリキュラム（基盤）を子どもの姿と対話しながら、作成することができた。
- ・保育所、学校、行政が意識して保育・教育に関わったことで、スクラム教育の活性化が図られた。
- ・**新たな交流の形に挑戦**したことで、保小連携の良さや可能性、学びの連続性等を再確認することができた。
- ・保育所と小学校の職員が、子どもの姿をもとに、何を育てたいのかを共通理解し、交流の内容や環境設定、支援方法を確認するなど、学期ごとにしっかりと話し合い、計画を立てて交流を実施することで、**互惠性のあるより良い交流**ができた。また、保育所と小学校の職員にとっても、教育内容の相互理解が深まった。

課題及び今後に向けて

- ・今年度作成したカリキュラムを、どう実践し、つながりを継続していくか。
- ・担当職員以外をどう巻き込んでいくか（研修の持ち方等）。

期待する子ども像

『自信をもって、主体的に遊びや学びに向かおうとする子』

の実現に向けて



ご清聴ありがとうございました

資料① 架け橋プログラム実施計画書

【様式2】

令和7・8年度鳥取県幼保小の架け橋プログラム推進事業（令和7年度事業）
実施計画書

令和7年 6月 5日

（市町村名）岩美町 （校区名）岩美南小学校区
（学校名）岩美町立岩美南小学校（職名）校長（氏名）石名 勝実
（園名）岩美町立みなみ保育所（職名）所長（氏名）森田 るり子

1 重点的な取組

日常的に職員同士の交流機会を設け、児童の相互理解を深めるとともに、遊びから学びへの連続性を意識した保育・学習指導に取り組む。

※「令和7・8年度鳥取県幼保小の架け橋プログラム推進事業実施要領 6事業内容」

③連携・接続の推進体制の構築（・行事への参加や相互の施設利用など、日常的な交流の推進）

2 実施計画

実施予定時期	具体的な取組	経費等
6月 2日（月）	○第1回1（1年生）・5（5歳児）交流事前検討会【③】	接続アドバイザー派遣①
6月23日（月）	○第1回1・5交流合同指導案検討会【③】	
6月25日（水）	○小学校での授業補助体験、保育士による小学校での絵本の読み聞かせ【⑦】	
6月27日（金）	○第1回1・5交流&事後検討会【①④⑤】 ・保育所内で1年生と年長児が交流活動を行う	
7月3日（木）	○第1回岩美町保小推進協議会【①②】 ・校区ごとによる目指す子ども像の設定 ・年間カリキュラム作成に向けて	
7月10日（木）	○みなみ保育所内研修会【①③】	
7月16日（水）	○小学校での授業補助体験、保育士による小学校での絵本の読み聞かせ【⑦】	
7月29日（火）	○保育参観体験&第1回 南小学校区保小連絡協議会【①③⑦】	
<p>○7月末までに職員の負担にならない程度に、以下のような園内・校内体制を日常的に整える【③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育参観体験までに小学校職員が必ず1回、短時間でもいいので保育所に訪問・見学を行う。 ・月1程度で保育士が小学校に訪問し、読み聞かせを行う。 ・推進リーダーを中心に行事などの連絡をこまめに取り合い、参加・見学が気軽に行えるような園内・校内体制を整える（週案に入れ込み職員に紹介する）。 ・園内・校内掲示や児童作品を職員同士が見合う機会を設ける。 ・休憩時間等に園児と生徒と一緒に遊ぶような機会を設ける。 ・保小の職員同士が顔見知りとなるよう、様々な機会（いもの水やり、散歩、プール借用時等）に声を掛け合う。 ・図画工作科、生活科等で保育士による小学校での授業補助体験を実施する。 		

9月頃	○第2回1・5交流検討会【③】 ・東部教育局指導主事による助言指導	接続アドバイザー派遣②
10月頃	○第2回1・5交流&事後検討会【①④⑤】	
	○第2回岩美町保小推進協議会【①②】 ・これまでの保小連携の取組の共有と今後の取組	
10月10日（金）	○第2回スクラム教育運営委員会兼推進委員会【①②】 ・第2回岩美町保小推進協議会を受けての来年度に向けた情報共有	接続アドバイザー派遣③
	○南小学校区就学時健康診断【③⑩】	
	○第2回 南小学校区保小連絡協議会【③】 ・保育所から小学校への引継ぎ ・就学時健康診断時の様子	
11月	○第3回1・5交流事前検討会【③】	
12月	○第3回1・5交流『保小授業研究会』【①④⑤】	
2月	○第3回岩美町保小推進協議会【①②】 ・2月5日の会を受けての次年度の方向性検討	
	○第4回1・5交流『小学校体験入学』【①④⑥】	
	○第3回 南小学校区保小連絡会【③】 ・小学校入学前最期の引継ぎ	
2月24日（火）	○第3回スクラム教育運営委員会兼推進委員会【①②】 ・第3回岩美町保小推進協議会を受けての来年度に向けた情報共有	
実施予定時期	令和8年度	経費等
4月	○旧年長担当保育士等による小学校初参観日の参観【③】	
	○旧年長担当保育士等による読み聞かせ【⑦】	

6.27 第1回 1・5交流（みなみ保育所 岩美南小学校）

<p>飾りを合体させてしまった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに考えてみていた ・1年生の作ったものを真似たり、自分なりに工夫したりして制作を楽しんでいた ・小じょうちゃんを作り、1年生に見せていた 	<p>思考力の芽生え ⑨</p> <p>身近な事象に情緒的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取り、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しんでいる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付く、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。</p>	<p>・輪郭を通してみよう等と年長児を気にかけて作っていた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すずらなテープを巻くぞうとくっつく気配していた ・失敗したところを修理 ・スズラテープをハサミで切ると切りにくく、手で切れることに気付き教えてあげていた ・難しいところをやってあげていた
<p>・見本と同じ色、〇〇ちゃんと一緒に</p> <p>・今度1回目（またまた遠足あり）</p> <p>・3つできた</p> <p>・1年生と一緒に数をかえる</p> <p>・後、一人足りない</p>	<p>自然との関り・生命尊重 ⑩</p> <p>自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などを用いて表現し、身近な事象への関心が高まることにも、自然への愛情や畏怖の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、命の不思議や尊厳に気付く。身近な動植物への関心・しよきや、命を大切にしていくため、大切な生き物たちをもつて関わるようになる。</p>	<p>0</p>
<p>・〇〇くんが考えたやつ作っている</p> <p>・ドッチボール楽しかった</p> <p>・あひだう</p> <p>・楽しかったと伝えていた</p> <p>・〇〇くんに教えてもらった</p> <p>・自分の意見を言っていた</p> <p>・外務がいないとさびしかった</p> <p>・自分の思いを発表できた</p> <p>・外務がいないとさびしかった</p> <p>・「今はすげないよ」と教えてあげていた</p> <p>・「1年生が優しく声をかけてくれたら嬉しいな」という</p> <p>・〇〇ちゃんにあひだのくぐりを教えてもらって「あひだう」</p> <p>・切りにくそうしている1年生に切ってもらおうかと言っていた</p> <p>・ハサミが切りにくく、1年生にハサミをさがしてあげようとしていた</p> <p>・1年生が作った物を見て、「すこい」という声がかれた。自分も作ってみたいという気持ちになったようだった</p>	<p>数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚 ⑪</p> <p>遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割を活用したりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。</p>	<p>5</p> <p>3</p> <p>・輪つなぎを見ながらできた</p> <p>・数を数える</p> <p>・もうちょっとで10時になっちゃう</p>
<p>・〇〇くんが考えたやつ作っている</p> <p>・ドッチボール楽しかった</p> <p>・あひだう</p> <p>・楽しかったと伝えていた</p> <p>・〇〇くんに教えてもらった</p> <p>・自分の意見を言っていた</p> <p>・外務がいないとさびしかった</p> <p>・自分の思いを発表できた</p> <p>・外務がいないとさびしかった</p> <p>・「今はすげないよ」と教えてあげていた</p> <p>・「1年生が優しく声をかけてくれたら嬉しいな」という</p> <p>・〇〇ちゃんにあひだのくぐりを教えてもらって「あひだう」</p> <p>・切りにくそうしている1年生に切ってもらおうかと言っていた</p> <p>・ハサミが切りにくく、1年生にハサミをさがしてあげようとしていた</p> <p>・1年生が作った物を見て、「すこい」という声がかれた。自分も作ってみたいという気持ちになったようだった</p>	<p>言葉による伝え合い ⑫</p> <p>保育士や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を用いて、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。</p>	<p>23</p> <p>26</p> <p>・次の活動の話題で盛り上がっていた</p> <p>・ドッチボールで応援していた</p> <p>・〇〇先生見て</p> <p>・やう方を説明</p> <p>・もうハサミを使わないだー</p> <p>・作るものを相談していた</p> <p>・はい、ある</p> <p>・次の何作りたいと聞いてあげていた</p> <p>・やう方話す、きく</p> <p>・自分の思いを年長に伝えることができた</p> <p>・作ったものを年長に感想を聞いてあげていた</p> <p>・ペラの友達の名前をよびペラになつて</p> <p>・見本を渡ながら作ろうかと相談しながら決めていた</p> <p>・みんなの前で楽しかったことを発表することができていた</p> <p>・こんな作ったよ、やってみる、こういう感じで教えていた</p> <p>・年長児が作って見せたものに對して「いいね」の声掛けをしまわっていた</p> <p>・この辺に藤を入れたら</p> <p>・外敷こちでつづいてく</p> <p>・〇〇先生見て</p> <p>・置き場所をわりやすく指示していた</p> <p>・食後はじまるとる？誰とペラ</p> <p>・次は〇〇を作ろうか</p> <p>・またやりた</p> <p>・周に寄るよと声をかけて教えてあげていた</p> <p>・作り方を教えてあげていた</p> <p>・年長児は何作とてきいて一緒に決めていた</p> <p>・ペラの友達の名前をよびペラになつて</p> <p>・みんなの前で楽しかったことを発表することができていた</p> <p>・こんな作ったよ、やってみる、こういう感じで教えていた</p> <p>・年長児が作って見せたものに對して「いいね」の声掛けをしまわっていた</p>
<p>・色や作り方を工夫していた</p>	<p>豊かな感性と表現 ⑬</p> <p>心を動かす出来事などに触れ感情を動かす中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付く、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、歌歌をもつようになる。</p>	<p>10</p> <p>・部屋を見て「なつかしい」</p> <p>・ちやうちんの手で作った飾り</p> <p>・スズラテープを巻くぞうとくっつく気配にしていた</p> <p>・様々な材料を使い、自分のイメージを制作していた</p> <p>・周りに何か作らないう作品をつくっていた</p> <p>・西庭のクローバーの作り方を教えていた</p> <p>・小さい指で切り紙を貼って楽しんでた</p> <p>・玉子というちやうちの動物を作っていた</p> <p>・ちょっと違うかな、じゃああるというての川をさぐっていた</p> <p>・「ちやうちんがかわいい」作っているのを見せたい</p>

- 「協同性」35付箋、「言葉による伝え合い」が49付箋と多かった
- 「自然との関わり、生命尊重」が0付箋だった
- 「自立心」は幼児の姿から多く見られ、「協同性」・「豊かな感性と表現」は児童の姿から多く見られた

資料③ 第1回岩美町保小推進協議会 資料

(岩美西 岩美北 岩美南) 校区

ステップ1：児童の実態を考えよう

年長児の強み	1年生の強み
年長児の弱み	1年生の弱み

ステップ2：目指す子ども像について

ステップ3：育みたい資質・能力について

(岩美西 岩美北 岩美南) 校区

ステップ1: 児童の実態を考えよう

年長児の強み	1年生の強み
コミュニケーション能力 (高) やさしい。園内を遊ぶだけでも声かけられる子が <u>多い</u> <u>みんな</u> でならがけられる <u>園長</u> 力 <u>仲間</u> づくり	チャレンジ精神 何でも楽しめる 最後の力を尽かせる。あきらめない。 [安心感・経験があることに対しては、 とても前向きになれる]
年長児の弱み	1年生の弱み
周りがみずきで、一歩ひく (いじめられ行動) <u>自信</u> がない <u>指示待ち</u> <u>流されやすい</u> <u>自分で考えて行動</u> できない <u>失敗</u> をおそれる	周りがみれない <u>指示待ち</u> <u>流されやすい</u> <u>自覚性</u> <u>主体性</u> △

ステップ2: 目指す子ども像について

自信をもって、主体的に遊びや学びに向かおうとする子

ステップ3: 育みたい資質・能力について

新井 浩一	田代 武	中尾 功	横田 久
ステップ1: 言葉の発音や発想を覚えるよう			
今年度の総論 元気・団結力 自信の思いを伝える！ 優しい気がつく ルール③ 助ける姿		1年生の総論 集団仲間意識 ルールの意識②	
今年度の総論 話聞けない 考える力 自信がない すぐに聞く		1年生の総論 聴き取り、工夫 すぐ聞く	

ステップ2: 総論や子ども達について

自信心。言葉による伝え合い。
 正しく自分の課でよう！

ステップ3: 優れた1課や、能力について

(四) 漢字
氏名
姓
氏名
職

ステップ1 漢字の読みをよもう

漢字の読み

漢字の読み	漢字の読み
味のものをいってよく書ける 聞くときがある。 昔は、みんない。 話すことが好き。 怪を知ることが好き。 お手紙が大好き。 友だちが大好き。 笑っているとき。	味のもの 聞くとき 昔はみんない 話すことが好き 怪を知ることが好き お手紙が大好き 友だちが大好き 笑っているとき

ステップ2 漢字の読みをよもう

漢字の読み

漢字の読み	漢字の読み
味のものをいってよく書ける 聞くときがある。 昔は、みんない。 話すことが好き。 怪を知ることが好き。 お手紙が大好き。 友だちが大好き。 笑っているとき。	味のもの 聞くとき 昔はみんない 話すことが好き 怪を知ることが好き お手紙が大好き 友だちが大好き 笑っているとき

ステップ3 漢字の読みをよもう

漢字の読み

漢字の読み	漢字の読み
味のものをいってよく書ける 聞くときがある。 昔は、みんない。 話すことが好き。 怪を知ることが好き。 お手紙が大好き。 友だちが大好き。 笑っているとき。	味のもの 聞くとき 昔はみんない 話すことが好き 怪を知ることが好き お手紙が大好き 友だちが大好き 笑っているとき

資料④ 第2回スクラム運営協議会資料

第2回 スクラム教育運営委員会兼推進委員会(みなみ保 ・ 南小)

今後の交流活動の予定及び進捗状況の確認

(架け橋プログラム 就学時検診 保小連絡会 探究活動・キャリア教育における中高連携 等)

- 2 学期は話し合い済 11月6日
- 12月16日 検討会
- 12月4日 1年生と年長児の交流 3回目
- 12月未定 5年生と年長児の交流
- 出前授業
- 読み聞かせ

スクラム教育促進のための校区の課題

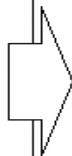
睡眠 読書 認知能力 非認知能力等

○睡眠が課題

- 保: 9:00までに寝る 9%
- 9:30 71%
- 10:00～10:30 14%

課題に対する手立て、取り組み(案)

子どもに9:00までに寝るよう 生活カード活用
子どもの意識を高める



ALT を活用した連携

(各保・小・中・高での ALT 活用状況)

- 子ども達も慣れてきた
- 年少にも入るようになった ← 小さい時から関りを

第2回 スクラム教育運営委員会兼推進委員会(中学校 ・ 高等学校)

今後の交流活動の予定及び進捗状況の確認

(架け橋プログラム 就学時検診 保小連絡会 探究活動・キャリア教育における中高連携 等)

- 高校総発表会を中学生が参観
- 高校の総探の時間を中学校教員が参観
- 高校調べに高校の校長が講演、生徒の代表者が講演

スクラム教育促進のための校区の課題

睡眠 読書 認知能力 非認知能力等

課題に対する手立て、取り組み(案)



ALT を活用した連携

(各保・小・中・高での ALT 活用状況)

- 高校ALTと中学校ALTの合同研修
- 高校生が中学校へイングリッシュキャラバン

資料⑤ 架け橋期カリキュラム（基版）

[illegible]